



未来へつなぐ、いのちのバトン 7年ぶりにゴールデンターキンの赤ちゃんが誕生しました！



2月24日撮影

アドベンチャーワールド（和歌山県白浜町）では、2026年2月24日に「ゴールデンターキン」の赤ちゃんが7年ぶりに誕生しました。

ゴールデンターキンは、IUCNレッドリストの危急種（VU）に指定され、その希少性から原産国の中国ではジャイアントパンダ、キンシコウと並び「中国三大珍獣」として国家一級保護動物に指定されている極めて貴重な存在で、国内ではわずか4園館のみ、西日本ではアドベンチャーワールドでしか目にすることができません。

現在、赤ちゃんはサファリワールドにて母親の深い愛情を受け、力強く岩場を歩むなど健やかに成長しています。「黄金の毛」へと生え変わる前の、今しか見られない茶褐色の愛くるしい姿はとても貴重な瞬間です。

新たないのちの成長をあたたく見守ってください。

<ゴールデンターキンの赤ちゃんについて>

- 誕生日：2026年2月24日（火）
- 性別：オス
- 体重：9kg（2月26日測定）
- 親情報：父親 アドベンチャーワールド 生まれ
母親 アドベンチャーワールド 生まれ



<ゴールデンターキンの親子公開について>

- 時間：午前10時30分～午後4時00分
- 場所：サファリワールド内アジアエリア

※天候や動物の健康管理上の理由で、公開内容を変更・中止する場合がございます。

※公開場所はウォーキングサファリの範囲外にございますが、専用の観覧スペースをご用意しております。

現地の案内表示をご確認のうえ、車両走行エリアへの立ち入りはお控えください。



<飼育頭数>

今回誕生した個体を含め、8頭（オス3頭、メス4頭、赤ちゃん1頭）を飼育しています。

<ゴールデンターキンについて>

- 分類：偶蹄目ウシ科
- 学名：*Budorcas taxicolor bedfordi*
- 英名：Golden Takin
- 生息地：中国高山地帯
- 体長：170～220cm
- 体重：250～300kg
- 寿命：野生下では16～18年前後
- 食性：主に草類
- 繁殖：性成熟は2～3歳半。妊娠期間は6～7か月。通常は1子出産。
- 特徴：ジャイアントパンダ・キンシコウと共に中国の三大珍獣であり、成長したオスは、きれいな黄金色の毛が特徴的です。生まれたばかりの赤ちゃんの毛色は濃い茶色で、背中に黒い縦縞があります。成長に伴いこの縦縞は消えて徐々に薄い茶色、金色へと毛色が変わります。また、群れで行動する動物のため、生まれた赤ちゃんは群れで大切に育てられます。

【アドベンチャーワールド「SDGs宣言・パークポリシー」】 <https://www.aws-s.com/parktheme-sdgs/>

アドベンチャーワールドは、「いのちを見つめ、問い続ける。いのちの美しさに気づく場所。」として、すべての生命にSmile（しあわせ）が溢れる豊かな未来の地球の姿をパークで体現します。パークという“小さな地球”を通して、関わるすべての人の人生が豊かになるように、動物たちの生命がずっとつながっていくように、自然や資源が循環し再生するように、未来のSmileを創り続けていきます。

【SDGsについて】

SDGsとは「持続可能な開発目標（Sustainable Development Goals）」のことです。社会が抱える問題を解決し、世界全体で2030年をめざして明るい未来を作るための17のゴールと169のターゲットで構成されています。2015年9月、ニューヨーク国連本部において193の加盟国の全会一致で採択された国際目標です。

